

足立区のお知らせ

足立区千住一丁目50
☎(882) 1111
編集・発行/足立区役所

昭和50年度予算のあらまし

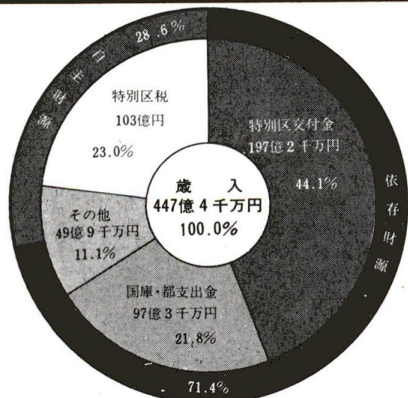
予算総額528億5,357万円



調和のとれた住みよい足立区建設をめざし、昭和50年度足立区予算が決定されました。予算総額は528億5,357万円です。前年同期(7月現在)にくらべ20.6%増加しています。この予算の内訳は一般会計447億4,166万円、国民健康保険特別会計79億1,141万円、用地特別会計2億50万円です。

総需要抑制政策中における不況下のインフレーションという異常な経済事情のなかで編成されたこの予算は、節約を第一に、少ない財源を有効に活用し、重点的に「あすの足立区」建設のために配分したものです。

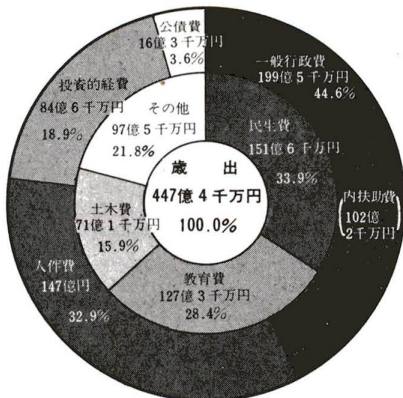
一般会計



【歳入】

依存財源が歳入総額の71.4%
国、または都などからの支出金や資金の調達を受けているお金を依存財源といい、区独自で捻出できるお金を自主財源といいます。この予算の71.4%(303億7千万円)が依存財源となっています。足立区の依存財源の割合は23区中最高で、最低は千代田区の14.4%、23区平均は45.7%となっています。主な歳入は次のとおりです。

- ◆特別区交付金 197億1,800万円
東京都と23区および23区相互間の財政上のバランスをはかり、東京都全体で一定の水準を保つために、都から交付されるお金です。前年同期より20.5%伸びています。
- ◆特別区税 103億196万円
特別区民税(85億7,113万円)、特別区たばこ消費税(11億4,941万円)電気税(4億1,253万円)、ガス税(8,577万円)、軽自動車税(8,312万円)の収入を合わせたものです。前年同期より16.8%伸びています。



◆国庫・都支出金 97億3,300万円
これは国や都が使道を決めて地方公共団体に負担金、補助金、委託金というかたちで支出しているお金です。
国庫支出金(78億1,818万円)、都支出金(19億1,482万円)があり、前年同期より28.7%の伸びとなっています。

【歳出】

公害防止と緑化推進に1億6,535万円
大震災火災対策に2億1,048万円
保健所などの都移管事務事業に15億5,014万円
狂乱物価のあおりを受けた昭和50年度予算は、義務的経費の増加と都からの大規模なしごとの区への移管(保健所を中心とする96項目)による経費増があります。また一方では4月にすでに執行されたように区長区議会議員の改選期となっていました。そのためこの予算は、これらに要素を柔軟的に受けとめるため、新規の政策的経費、投資的経費を今後に残した「節約型骨格的年間予算」となっています。しかしながら、住みよい足立区の建設は1日として遅れることのないよう従来からの「生活環境の整備」「社会福祉の充実」「青少年の健全育成」

の三本の重点施策に新たに緊急的課題として「公害防止と緑化推進」「大震災火災対策」を加えました。これら五本の施策に力を入れるため、經常経費を極力切り詰め、財源を重点的に配分し、区民生活の安定と福祉の増進をはかるよう配慮しています。以下に計上概要について説明します。

◇生活環境の整備	44億8,410万円
道路整備等	14億3,338万円
公共下水道工事	6,120 m
排水場の整備	6 か所
公園新設改良	7 園
公共溝渠改良	780 m
伝染病等予防対策(移管事務)	2億4,652万円
母子保健対策(移管事務)	1億2,087万円
交通安全対策	1億3,128万円
◇社会福祉の充実	97億2,434万円
生活保護等扶助	75億6,358万円
児童福祉の充実	9億7,237万円
老人福祉の充実	8億4,557万円
心身障害者(児)の福祉充実	1億2,646万円
保育園増築	3 園
公共施設段差解消	14か所
出張所窓口に補聴器の設置	88万円
◇青少年の健全育成	51億 638万円
学校施設建設	29億2,104万円
校舎新増築10校、特別教室9校、体育館建設4校	
プール建設4校、その他	
教室のガス暖房化	19校
児童・生徒の就学扶助	1億7,583万円
児童・生徒等の保健対策	8億5,256万円
私立幼稚園児等保護者負担軽減事業	1億4,902万円
公私立幼稚園就園奨励事業	3億2,944万円
勤労青少年寮の管理運営(移管事務)	1億 45万円
青年館増築	1,644万円
総合体育館建設(設計委託等)	2億6,625万円
図書館の図書充実	2,635万円
	4,871万円
◇公害防止と緑化推進	1億6,535万円
環境整備資金の貸付	1,031万円
光化学スモッグ対策用空気清浄機、クーラー設置	
	10校
	1,920万円

公害測定器材の購入	475万円
学校、公園等の施設植樹	8,306万円
苗木の配付および栽培委託	998万円
区内樹木、樹林の実態調査委託	702万円

◇大震災火災対策	2億1,048万円
防災用三角バケツの配付	9,490万円
防災用貯水槽の設置	5 か所
避難道路に消火器の配備	800本
防災組織の育成	1,033万円
防災知識の啓蒙	1,678万円
災害備蓄倉庫の建設	1 か所
	2,644万円

◇その他区民サービス等	24億3,624万円
区民保養所買収および運営	2億4,546万円
統一地方選挙執行	4,973万円
国勢調査	7,781万円
中小企業融資	1,247万円
広聴、広報の充実	6,839万円
特別区債の元利償還	16億2,962万円
開発公社業務委託	2億4,481万円

特別会計

◇国民健康保険特別会計 79億1,141万円

国民健康保険に加入している方を対象とした特別会計です。
歳入 保険料、国からの負担金、補助金と都からの交付金などが主な歳入です。

歳出 医療機関に支払う療養費、助産費(1件当り2万円)育児手当金(1件あたり2千円)、葬祭費(1件あたり1万円)などの保険給付費が主なもの。そのほか、無料健康相談、健康家庭の表彰、保養施設の運営などの事業を行ないます。

歳入	国庫支出金 53.8%	都支出金 25.0%	保険料その他 21.2%
歳出	保険給付費 91.7%	その他 8.3%	

◇用地特別会計 2億50万円

学校、保育園などの公共施設の建設用地を確保するための会計です。歳入は、一般会計へ用地を売り渡す財産収入が主なもの。歳出は、用地買収費が主なものとなっています。

一般会計予算の他区との比較

昭和50年度当初予算の他区における計上概要を足立区予算と比較してみました。

区 分	人口と予算総額と住民一人当りの予算額				
	人口(50.1.1現在)	当初予算額	住民一人当り予算額		
足立区	609,793 (3)	44,742 (3)	73,372 (10)		
葛飾区	442,465 (8)	30,159 (8)	68,161 (13)		
千代田区	74,879 (23)	10,325 (23)	137,884 (1)		
世田谷区	771,111 (1)	47,796 (1)	61,983 (22)		
23区平均	372,048	26,625	71,563		

区 分	歳入予算における依存財源率と区税収入額と住民一人あたりの税負担額				
	依存財源率	特別区税収入額	住民一人あたり税負担額		
足立区	71.4 (1)	10,302 (9)	16,894 (22)		
葛飾区	59.6 (5)	7,921 (17)	17,903 (21)		
千代田区	14.4 (23)	6,700 (20)	89,478 (1)		
世田谷区	28.1 (19)	27,575 (1)	35,760 (9)		
23区平均	45.7	10,948	29,426		

主な歳出予算の構成割合

区 分	民生費	教育費	土木費	総務費	その他
足立区	33.9%	28.5%	15.9%	10.2%	11.5%
葛飾区	31.2%	23.3%	20.7%	14.8%	10.0%
千代田区	17.8%	21.8%	21.3%	22.6%	16.5%
世田谷区	29.2%	28.6%	14.4%	15.5%	12.3%
23区平均	31.5%	27.0%	14.4%	15.7%	11.4%

() は、23区における順位

昭和49年度足立区財政状況(下半年)の公表から

補正予算額70億円追加

民生費・教育費で61%

本区財政の実態を区民の皆さんに正しく理解していただき、より一層のご協力をお願いするために財政状況の公表を毎年2回、6月と12月に行なっています。今回は、昭和49年10月1日から昭和50年3月31日(昭和49年度下半年)までの財政状況をお知らせします。

昭和49年度予算の概要

●一般会計

昭和49年度予算は、前回公表しましたとおり、昭和49年9月30日現在で374億8,364万6千円を計上し、執行してきましたが、下半期に入り、特別区税、特別区交付金、国庫・都支出金、特別区債等を財源として4回にわたって予算の補正を行ないました。その結果、昭和50年3月31日現在の最終予算額は445億2,100万7千円となりました。

下半期の補正予算を簡単に説明しますと次のとおりです。

■下半期の補正予算

●補正第2号(昭和49年11月29日議決)

昭和49年度一般会計歳入予算収入状況

表-1 (50.3.31現在)

科目(款)	予算額(A)	収入額(A)	収入率(収×100)
1特別区税	9,309,016	8,478,015	91.1%
2自動車重量増徴	190,000	200,264	105.4%
3自動車取得税交付金	471,700	536,728	113.8%
4交通安全対策特別交付金	77,591	77,591	100.0%
5特別区交付金	17,710,024	16,970,676	95.8%
6分担金及び負担金	147,243	140,160	95.2%
7使用料及び手数料	113,285	117,108	103.4%
8国庫支出金	6,761,476	6,153,513	91.0%
9都支出金	1,949,569	1,553,999	79.7%
10財産収入	138,271	138,278	100.0%
11寄付金	52,798	52,797	100.0%
12繰入金	500,240	499,051	99.8%
13繰越金	451,544	451,544	100.0%
14諸収入	3,204,188	2,673,513	83.4%
15特別区債	3,444,062	0	0.0%
歳入合計	44,521,007	38,043,237	85.5%

昭和49年度一般会計歳出予算支出状況

表-2 (50.3.31現在)

科目(款)	予算額(A)	支出額(B)	支出率(支×100)
1議会費	383,594	342,649	89.3%
2総務費	7,261,513	3,815,232	52.5%
3民生費	13,850,625	13,084,427	94.5%
4産業経済費	245,076	219,908	89.7%
5環境費	1,109,190	957,256	86.3%
6土木費	6,649,625	4,672,642	70.3%
7教育費	13,165,212	10,970,560	83.3%
8公債費	1,825,167	1,814,939	99.4%
9諸支出金	3,500	3,500	100.0%
10子備費	27,505	0	0.0%
歳出合計	44,521,007	35,881,113	80.6%

〔主な内容〕開発公社業務委託費の追加/第7出張所用地、建物買収/統一地方選挙事務経費/心身障害者福祉手当/児童手当・児童育成手当の追加/西新井四丁目・西新井本町二丁目保育園建設設計委託費/生活保護法による扶助費の追加/中小企業融資基金積立金の追加/道路拡幅・路面補修費等の追加/公共下水道枝線工事費の減/就学困難児童・生徒の扶助費の追加/学校給食費補助/公私立幼稚園就園奨励費の追加

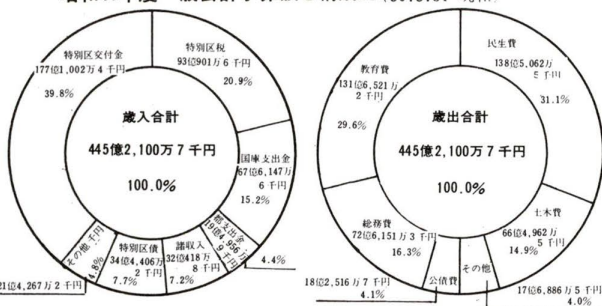
●補正第3号(昭和49年12月19日議決)

〔主な内容〕区民保養所建設/区民保養所管理運営費

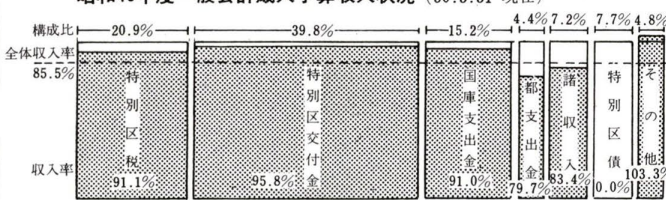
●補正第4号(昭和50年3月8日議決)

〔主な内容〕開発公社業務委託費の追加/公共施設建設資金積立金の追加/老人医療費助成費の減/老人福祉手当の減/生活保護法による扶

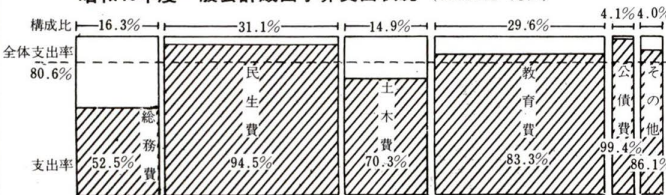
昭和49年度一般会計予算額と構成比(50.3.31現在)



昭和49年度一般会計歳入予算収入状況(50.3.31現在)



昭和49年度一般会計歳出予算支出状況(50.3.31現在)



助費の追加/被生活保護世帯に対する緊急援護費の追加/道路拡幅・路面補修・側溝新設改良費等の減/公共溝渠改良費の減/千住寿町児童遊園(仮称)用地購入(用地会計振替分)/学校施設建設費の減/私立幼稚園児保護者負担軽減費の減/総合体育館建設費の減

●補正第5号(昭和50年3月28日議決)

繰越明許費の変更にとりも補正

■歳入歳出予算の執行状況

昭和49年度予算についての執行状況をみますと、予算現額445億2,100万7千円に対し、歳入で380億4,323万7千円が収入され、収入率85.5%となり、歳出では358億8,111万3千円、80.6%の支出となっています。この科目別内訳は、表-1、表-2に示すとおりです。

●特別会計

■国民健康保険特別会計

区では、国民健康保険事業を特別会計としています。この会計は、主として保険料と国庫・都支出金でまかなわれています。昭和49年9月30日現在の予算額は60億4,931万4千円となりましたが、下半期に3回補正を行ないました。その結果、昭和50年3月31日現在、70億7,591万6千円となり、このうち67億5,173万8千円が収入され、収入率95.4%、支出額は56億4,455万5千円、支出率79.9%となっています。

■用地特別会計

区では、事業用地の取得を容易にし、事業の円滑な執行を図るために特別会計をもうけています。昭和49年9月30日現在の予算額は、3億50万円となりましたが、下半期に1回補正を行ない、昭和50年3月31日現在3億170万6千円となりました。このうち、収入については100%収入され、支出額は2億7,196万5千円、支出率90.1%となっています。

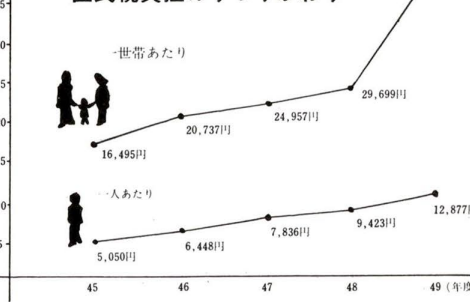
区民負担の概要

昭和50年3月31日現在の特別区民税の区民負担額は、次に示すとおりです。

年度	区民税額	世帯数	一世帯あたり負担額	人口	一人あたり負担額
昭和49年度	7,809,849円	194,189世帯	40,218円	606,491人	12,877円
昭和48年度	5,660,608円	190,600世帯	29,699円	600,715人	9,423円
増(△)減	2,149,241円	3,589世帯	10,519円	5,776人	3,454円
増(△)減率	37.97%	1.88%	35.42%	0.96%	36.65%

(注) 区民税額額は3月末日現在、世帯・人口は足立区世帯人口による賦課期日(1月1日)現在数です。

区民税負担のうつつりかわり



財産・公債・一時借入金

●区有財産

昭和50年3月31日現在で区が所有している財産は、下表のとおり総額777億1,234万6千円です。これを昭和50年4月1日現在の区の人口60万9,615人、世帯数19万6,869世帯で割ってみますと、一人あたり12万7,478円、一世帯あたり39万4,741円となります。

区有財産の現況

区分	金額	備考
公有財産	47,258,873千円	庁舎・学校等の敷地
土地建物	26,471,076千円	庁舎・学校等の建物
立木	2,122,161千円	門・町水橋等
債券	145,905千円	株券・電話債券等
有価証券	39,803千円	株券・電話債券等
基金	629,100千円	中小企業融資基金等 6件
物品	1,045,428千円	一点につき20万円以上の物品12品
計	77,712,346千円	

●公債

昭和50年3月31日現在における公債の総額は、72億3,953万7千円です。その内訳は次のとおりです。

社会福祉施設建設債	2億1,222万9千円
社会福祉施設建設用地買収債	2億3,770万0千円
土木施設建設債	4,608万0千円
土木施設建設用地買収債	6億6,165万0千円
義務教育施設建設債	3億1,357万8千円
教育施設用地買収債	57億6,830万0千円

●一時借入金

年度の途中において、一時的に現金が不足することがあり、収入があるまで一時的な支払資金として、市中銀行などから借り入れることがあります。

本区においては、一般会計で5億円まで借り入れることができますが、幸い資金状況が順調に推移しましたので、昭和50年3月31日現在借り入れはしていません。

繰越予算の執行状況

昭和48年度予算のうち、昭和49年度に繰越された予算(昭和48年度繰越明許費)は47事業11億2,149万9千円ありましたが、これらの執行状況は下表のとおりです。

昭和48年度繰越明許費執行状況(50.3.31現在)

科目(款)	予算額	支出額	支出率
土木費	427,096千円	426,987千円	100.0%
教育費	694,403千円	692,970千円	99.8%
計	1,121,499千円	1,119,957千円	99.9%

東京都執行委任予算

この予算は、都の事務事業の一部を都知事から区が委任を受けて執行しているものです。

そのおもな内容は、区立小・中学校教職員の給与費、失業対策事業費、母子福祉資金貸付金などで、昭和50年3月31日現在の執行委任額および執行状況は下表のとおりです。

執行委任額および執行状況(50.3.31現在)

科目	執行委任額	支出額	支出率
一般会計	9,803,610千円	9,752,645千円	99.5%
総務費	211,000千円	204,707千円	97.0%
民生費	84,953千円	76,178千円	89.7%
労働費	203,129千円	201,448千円	99.2%
産業経済費	69千円	69千円	100.0%
教育費	9,304,459千円	9,270,243千円	99.6%
母子福祉貸付金	10,680千円	8,949千円	83.8%
貸付費	10,680千円	8,949千円	83.8%
合計	9,814,290千円	9,761,594千円	99.5%